

平成 30 年度 第 3 回和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会  
＜議事概要＞

【概 要】

- ・ 日 時：平成 31 年 3 月 26 日（火）14：00～15：00
- ・ 場 所：和泉市コミュニティセンター 1 階中集会室
- ・ 欠席者：池辺委員、榎本委員、岩佐委員
- ・ 委員変更：和泉警察署交通課長は人事異動に伴い、勝島委員から寺脇委員に変更

【次第】

1. あいさつ
2. 審議事項
  - 1) 和泉市地域公共交通網形成計画（案）について
  - 2) 平成 31 年度のスケジュール（案）について
3. その他

【議事概要】

1. あいさつ

＜藤原委員長より、挨拶＞

本日は、お忙しい中、平成 30 年度第 3 回委員会にお集まりいただき、また、平素より本市の公共交通行政をはじめ市政各般にご協力いただき感謝申し上げます。本日は最終とりまとめを行い、承認をいただく段になっている。高齢化社会の深刻化に伴い、交通インフラの重要性が増しており、今後、地域・企業・行政が連携し、持続可能な交通施策を進めていきたい。今後ともご協力をお願いし、開会のあいさつとしたい。

2. 審議事項

1) 和泉市地域公共交通網形成計画（案）について

内田議長：本日は最終委員会となるが、引き続き、忌憚のない意見をいただきたい。本日の資料ではパブリックコメントを踏まえた修正案が提示されていると思うが、パブリックコメントにおいてどのような意見があったのか。

事務局：パブリックコメントにおいて意見はなかった。

内田議長：では、パブリックコメント後に変更した箇所は何か。事務局から簡単に説明いただきたい。

＜事務局よりパブリックコメント後の修正点について説明＞

内田議長：資料は事前に手元に届いていたかと思う。現時点で気になること等はないか。特に意見が無いようであるが、私から 1 点だけ意見したい。概要版において、具体的な事業は本編 P70-71 に記載されている旨を注記した方が良いと思う。

松井委員：南横山地区で試験的に実施したデマンドタクシーは、横山地区において適応できる可能性があると考えている。槇尾山や付け替え道路の開通によって、地域

の環境の変化が想定され、デマンドタクシーの活用に対する検討を深めていきたい。

内田議長：細かい点についてであるが、用語解説の該当箇所が分かるように記号等を付してほしい。また、92 ページ以降が資料編となっているが、図表のキャプションに記載された「ゼロ」の数字は不要である。さらに、108 ページ以降の委員名簿の記載に間違いがないか、各委員には改めてご確認いただきたい。

<特に意見なし>

内田議長：それでは、計画案についてご承認いただけるか。

<一同承認>

内田議長：続いて、平成 31 年度のスケジュール案について事務局より説明いただきたい。

## 2) 平成 31 年度のスケジュール（案）について

<事務局より、資料に基づき説明>

内田議長：事務局からの説明に意見等はないか。

稲沢委員：来年度、マップを作成されるということであるが、マップは利用する方の意見を取り入れながら、わかりやすいものを作成してほしい。

内田議長：次年度実施する 2 つの事業は、網形成計画 70、71 ページ記載されているどの事業に対応するのか。

事務局：基本方針 3—①に該当する。

内田議長：補助事業以外で実施する事業はあるのか。

事務局：基本方針 1 では信太山駅の改修、南部地域のまちづくりと連携したネットワークの検討、基本方針 2 では乗降調査結果を踏まえた運行内容の改善を検討していきたい。基本方針 3 ではマップ作成のほか、職員のノーマイカーデーを継続的に実施していきたい。また、幼児・児童のバスの乗り方教室も実施するほか、高齢者お出かけ支援事業にかかる制度設計を次年度から実施する予定でいる。

脇田委員：概要版にある図の凡例が小さいので見やすくしてほしいと思う。

事務局：見やすくなるように修正する。

脇田委員：北信太駅についてであるが、高齢者の移動に配慮してスロープやエレベーター等の設置を早期に実施してほしい。

事務局：今年度、北信太駅の基本計画を策定した。計画期間は 15 年と長期にわたるが、バリアフリー化に向けたエレベーターの設置については、可能な限り、短期的に整備できるように事業を進めていきたい。

芥子委員：網形成計画策定後がスタートであると思っている。他の市町ではバスの存続が危ういところもある。現在バスを必要としない若い人であっても、月 1 回程度は乗車いただけるよう関係各位と協力して利用促進を図っていきたい。

内田議長：高齢者お出かけ支援事業について、補足等はあるか。

田山代理：来年度中に制度設計を行い、平成32年度には事業を開始したいと考えている。

藤原委員長：高齢者お出かけ支援事業は市長のマニフェストに掲げられている事業であり、平成32年度の早い段階で実施したいと考えている。課題も多いが、バス・タクシー事業者や地域と連携して進めたい。

後藤委員：国の補助事業の交付申請について、委員会として確認をとってほしい。

内田議長：委員会として申請する確認をとる前に事業費の規模感を教えてほしい。

事務局：事業費は200万円程度であり、そのうち、国から最大で2分の1を補助していただくこととなる。

内田議長：それでは、申請内容についてご承認いただいてもよろしいか。

#### <一同承認>

内田議長：その他、意見はあるのか。

後藤委員：国の補助事業を活用すると、1月末までに自己評価の提出が必要になる。書面協議とすることも可能であるが、可能な限り、委員会で審議いただきたい。そのことも踏まえて来年度の委員会の日程を調整してほしい。

内田議長：事務局案の2月の開催を早めることも考えられるが、予算や議会との関係もあるかと思う。日程調整は可能か。

事務局：内部で検討した上で、7月に改めてご案内したい。

内田議長：では、7月、10月の委員会の開催は承認、それ以降の下期の予定については未定ということでご了承願いたい。その他、何か意見はあるか。

松井委員：槇尾山の付け替え道路にバスは運行しないのか。南海バスが運行されるか否かによって、その他のバスの動き方が変わってくる。

内田議長：この件については、そのための協議の場で詰めていただきたい。

マップの作成について毎年度補助事業を申請し、作成配布するのか。

事務局：全戸配布になるかどうかかわからないが、バスルートの変更の都度、配布していきたい。

内田議長：補助スキームがあれば活用し、無ければ単費で配布すると理解した。

その他、意見が無いようであるので、資料に記載の2事業に対する補助申請及び10月までのスケジュールについて、承認いただけるか。

#### <一同承認>

内田議長：事務局から連絡事項はないか。

事務局：特にない。

内田議長：委員の皆様におかれては、網形成計画策定にご協力いただき感謝申し上げます。では、進行を事務局にお返す。

藤原委員長：内田先生にはスムーズな議事運営をいただき感謝申し上げます。今回の計画を和泉市のバイブルとして施策を進めていきたい。

－以上－

**【会議の様子】**

